

事業所における自己評価結果(公表)

令和3年3月15日 公表

事業所名 こども発達支援センター のぞみ(児発)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である			活動によって、部屋を使い分けている。	活動内容によって、スペースを共有したり、個別で使ったりしている。今年度は密を避けるためにも、小グループ制にした。
	2	職員の配置数は適切である			8名+ のグループに支援員を3、4名を配備している。	8名+ のグループに3、4名の職員が支援にあたる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている			個々の発達に合わせ、安全に過ごし易い環境にしている。	個別の環境に配慮しなければならないところは、利用時に応じ丁寧に支援している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている			毎日施設内や送迎バスの清掃と消毒を行いました。	今後も丁寧に清掃、消毒作業を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している			目標設定と振り返りは、毎日職員で情報共有を行っている。	毎日職員全員が、共有出来るようにしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			毎年、行っている。	ガイドラインに沿ったものを使用し、改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している			配布とホームページ掲載を行い、広く皆様にご覧いただくようにした。	今後も継続する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している			年間計画を立て内部研修を行っている。外部研修に関しては今年度はオンラインで参加し、スキルアップにつなげ	内部研修・外部研修を行い、資質向上に努めていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している			担当制にして、クラスごとに会議をしている。	保護者との面談を密に、モニタリング、アセスメント 個別支援計画を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している			VMI JSI-R PVT-R WISC - などのアセスメントツールを使用して、支援を深めている。	いろいろな職員が検査を行ったり、検査結果を評価できるようにしていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている			職員に臨床心理士を入れ、家族支援を行う。また保育所等訪問で地域の中で暮らしやすい環境を整える努力をした。	本人支援、家族支援共に、関係者と密な連携を出来るだけ取るよう、努力していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている			保護者を含め、関わる支援員で情報共有し、計画作成に努めている。	保護者の意見を今後より取り入れて作成していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている			担当職員を中心としてチームで作成。	クラスごとに、クラス会議を開き、常に行っていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している			季節に合わせて内容など工夫している。	「季節感」を重視していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している			子どもの活動ベースなど特性に合わせて活動を組み立てている。	子どもの活動ニーズや興味関心を引き出しながら、活動プログラムを考えていく。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している			朝礼時に確認して、役割を決めている。	その日の職員配置状態によって、変動することもあるので、朝必ず確認をとる。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			子どもの様子や気づきを職員間で共有している。	振り返りの時間の確保をしていく。 業務改善を図る。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている			必ず、支援終了後には記録し 振り返りを行っている。	子どもの状態によっては、夕方電話確認をする。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している			クラスでモニタリング会議を行う。	個人個人についての支援をチームで深める努力をしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			連絡は保護者に行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		必要に応じて実施。就学前後で連携している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			連携を行い、見守る体制をとっている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			幼小連携を行っている。 サポートファイルの記入を行ったり、連携資料を作成している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			市内で行うカンファレンス等で研修している。	地域自立支援協議会児童支援部会が中心となって、研修の場を設けている。今後も連携を深める必要がある。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			管理者を中心に参加している。	三原市ではセンターが1ヶ所なので、中心的役割を担っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている			日々の連絡帳や送迎時に伝える。	時には、面談を個々にいれる。
保護者への説明責任	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			毎週木曜日、臨床心理士による面談を行っている。	年に何度か保護者の集まる会を設けていきたい。保護者同士のミーティングに力を入れたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている			契約時に行っている。	利用者負担金は、利用時前と変更時に説明して 安心してもらう。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている			定期的に臨床心理士との面談を入れている。	秘密を守る部分、支援員が共有する部分があり、安心して面談をしてもらう。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今年度はできなかったが、茶話会やクッキング等での保護者同士の集まりを大切にしていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している			迅速に対応するように、心がけている。	相談を受けたときは、即座に対応し、スタッフで検討が必要な時は、臨時職員会議をして対応していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
寺	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			毎月、お便りを発行している。法人の新聞を年3回発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている				その方に合わせた対応をしていく。(電話メール 手紙など)
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今年度はコロナのため開催なし	地域の人との交流を図る場を設けていく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			コロナ対応を状況に合わせて迅速に行った。	水害・災害・防犯のマニュアルを策定し、職員研修を行っていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			毎月1回 避難訓練を行っている。	水害・火事・防犯・地震の訓練を行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している			発作に対応出来るようマニュアルを作成。	個別に緊急時には、救急車を手配出来るよう 消防署に届け出をし対応していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			対応児は必ず医師の指示書を提出してもらっている。	給食を提供しているので、指示書に沿って 除去食を提供していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			月に1回ヒヤリハット検証会をしている。	第2水曜日の職員会議で検証し、職員皆で共有している。緊急時はその都度していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			年に1回以上行う。	管理者を中心に行い、理解を深めるよう虐待研修を行っていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			身体拘束は必要な児が今はいない。	身体拘束については、正しい理解が必要なため、管理者を中心に研修を行っていく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和3年 3月 15日

パーセンテージ表示

事業所名 こども発達支援センター のぞみ 保護者等数(児童数) 24名 回収率 20名 割合 83 %

児童発達支援センター

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	84%	4%	4%	8%	療育するスペースを工夫されて良い。少し狭いと感じる。	子ども一人当たり、2.47㎡の床面積が求められています。部屋の使い方を工夫いたします。密を防ぐため、小グループ制にしました。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	88%	8%		4%	理学療法士、言語聴覚士、看護師がいるとさらによい。支援員の数は多いが、手のかかる子どもが多いことや、年度途中でグループが増えたことで、支援員の数が足りているのか心配。	多職種の採用も考えております。人員は適正に配置しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	96%	4%				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				トイレが近くにない部屋があり、不便かなと思う。	トイレ誘導は行っております。ご心配をおかけして申し訳ございません。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	96%	4%			保護者のニーズを取り入れて欲しい。支援計画は家でも同じ目標に、向かって取り組めるように具体的にしてほしい。毎回保護者も望んでいる課題を取り上げてもらいたい。	家の様子をしっかりと聞いて、アセスメントを行い、チームで計画作成に取り組めます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び以降支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	92%	4%		4%	細かく話を聞いてもらい、一つ一つ考えてもらってうれしく思う。	具体的な支援内容を計画の中に盛り込んでいます。ガイドラインについてはいつでもご覧になれます。(インターネットで閲覧できることをお知らせします。) 参照先 児童発達支援ガイドライン 厚生労働省 <検索>
	7 児童発達支援に沿った支援が行われているか	92%	4%		4%	目標を達成するために、どのように関わっていくのか、達成状況など保護者との共有をもう少し保護者と密に連携してほしい。	一人一人に丁寧に寄り添い支援してまいります。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	84%	12%		4%	家ではなかなか経験できないことがたくさん経験できている。大まかなプログラムは知らされているが、毎日何をしているのか分からない。	季節感を大切にして、日々のプログラムを作成しています。毎日連絡帳や送迎時に、活動内容や子どもの様子について伝えていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12%	16%	16%	44%	なくてもよいと思います。コロナ禍なので難しいと思います。	今のところ、交流する機会は持っていません。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	8%				契約時に説明させていただき、変更があった場合にはその都度お知らせしています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供提供すべき支援」のねらい及び発達支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	96%	4%				内部研修をして周知し、支援計画の内容を説明しています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	76%	16%	4%	4%	家では気が付かなかったことをのぞみで教えてもらい知ったこともあり、先生からのお話は貴重です。質問に対しては答えてもらっているが、先生からも気づいたことがあれば、アドバイスが欲しい。家と事業所どちらでも必ず行われるよう周知してほしい。相談すれば親身になって対応してくれている。	担当支援員を中心に随時困りごとには対応させていただきます。毎週木曜日に保護者の方が、臨床心理士と、個人面談が出来るようにしております。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	88%	12%			連絡帳で子どもの様子を詳しく教えてくださり、子ども状況が知れてうれしい。	今後もお迎え時や、連絡帳または、電話で、丁寧に子どもの状況を伝えていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	88%	8%	4%			定期的または必要に応じて随時面談を取り入れていきます。
保護者 への 説明等	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20%	20%	8%	52%	コロナ禍であり、保護者の交流がなくなってしまい残念。状況がよくなってから何らかの会があることを願っています。	例年、年数回保護者学習会や茶話会などを設定はしていますが、今年度はコロナのこともあり、開催できておりません。申し訳ございません。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	88%	12%			相談した時にすぐに対応してくれています。学校見学などの準備をしていただき、ありがとうございます。	保護者の相談には、迅速に対応させていただきます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88%	12%				
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	80%	4%		16%		
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	88%			12%		
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	88%		4%	8%		周知していくように昨年から、お便りに載せたり、連絡帳でお伝えしています。
非常時等							

の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	92%			8%		毎月実施しています。昨年まで、周知していなかったため、保護者の皆様に伝わっていませんでしたが、今年度はお伝えしております。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				笑顔がたくさん見られ、楽しんでいると感じます。お友達や楽しい先生がいて、とても楽しく過ごしています。	職員も毎日楽しく仕事が出来ています。ご家族の時間も大切になさってください。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%				大満足です。子どもの成長が目に見えて分かるので、感謝します。	今に満足せず、今後も日々精進していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。